

解説

◇このワークシートのねらい

のいち動物公園では、2羽のハシビロコウが暮らしています。「動かない鳥」として有名になったハシビロコウですが、実際はどうでしょうか。本当に動かないかどうか、確認してみてください。

ハシビロコウ ペリカン目ハシビロコウ科

アフリカ中東部にすんでいます。体長1～1.2mで、翼を広げると約2mにもなる大きな鳥です。ハシビロコウという名前は「クチバシが幅広いコウノトリの仲間」からきていますが、最近ではコウノトリよりもペリカンに近い種類だということがわかっています。英名の Shoebill は、「靴のようなクチバシ」という意味です。

エサとなる魚（肺魚）が水面にあがってくるのを、動かずにじっと待ち続ける姿から「動かない鳥」と言われるようになりました。もちろん、ずっと動かないわけではなく、動物公園では展示場内を歩いたり、飛んだり自由に動いています。

ハシビロコウは絶滅危惧Ⅱ類に指定されており、生息数は減ってきています。国内では14羽が飼育されていますが、飼育下での繁殖は世界で2例しかなく、繁殖が望まれています。

のいち動物公園のハシビロコウの名前は？



ささ（オス）

行動派で、展示場ではネットの近くまで来ることもあります。目の色は、薄い青色です。



カシシ（メス）

那須どうぶつ王国からやってきました。長い冠羽が特徴です。ハシビロコウ舎に入る職員みんなに挨拶をします。

ハシビロコウの顔をよく見てかいてみよう！

ハシビロコウの顔をよく見てみてください。ハシビロコウの後頭部には、寝ぐせのような冠羽があります。

大きなクチバシの先にも注目してみましょう。とがった先端が、かぎ状になっています。これは、エサ（魚）を逃がさずしっかり捕まえるためと言われています。

ハシビロコウは何をしているかな？

ハシビロコウの行動を、じっくりと観察してみましょう。他の鳥類と比べると動きは少ないかもしれませんが、翼を広げて日光浴をしたり、プールに入って水を飲んだり、様々な行動をしているのがわかると思います。

「クラッタリング」とは、クチバシをカタカタと打ち鳴らすことで、自分の存在をアピールします。また、「クラッタリング」とあわせて頭を下げる「お辞儀」が見られることがあります。お辞儀は親愛の意があり（仲良くしたいという気持ちを示す）、繁殖期になるとオスとメス同士でお辞儀をします。

★ハシビロコウクイズのこたえ 2. エサをねらっている★

◇まとめ

動物をじっくり観察することで、新たな発見があると思います。その発見が、動物に興味を持ち、正しく理解するきっかけになるとと思います。

このワークシートについてのご意見、ご感想がありましたら遠慮なく動物公園までお知らせください。またアンケートにもご協力をお願いします。

〒781-5233 高知県香南市野市町大谷738
高知県立のいち動物公園 ワークシート係
TEL 0887-56-3509 FAX 0887-57-5251